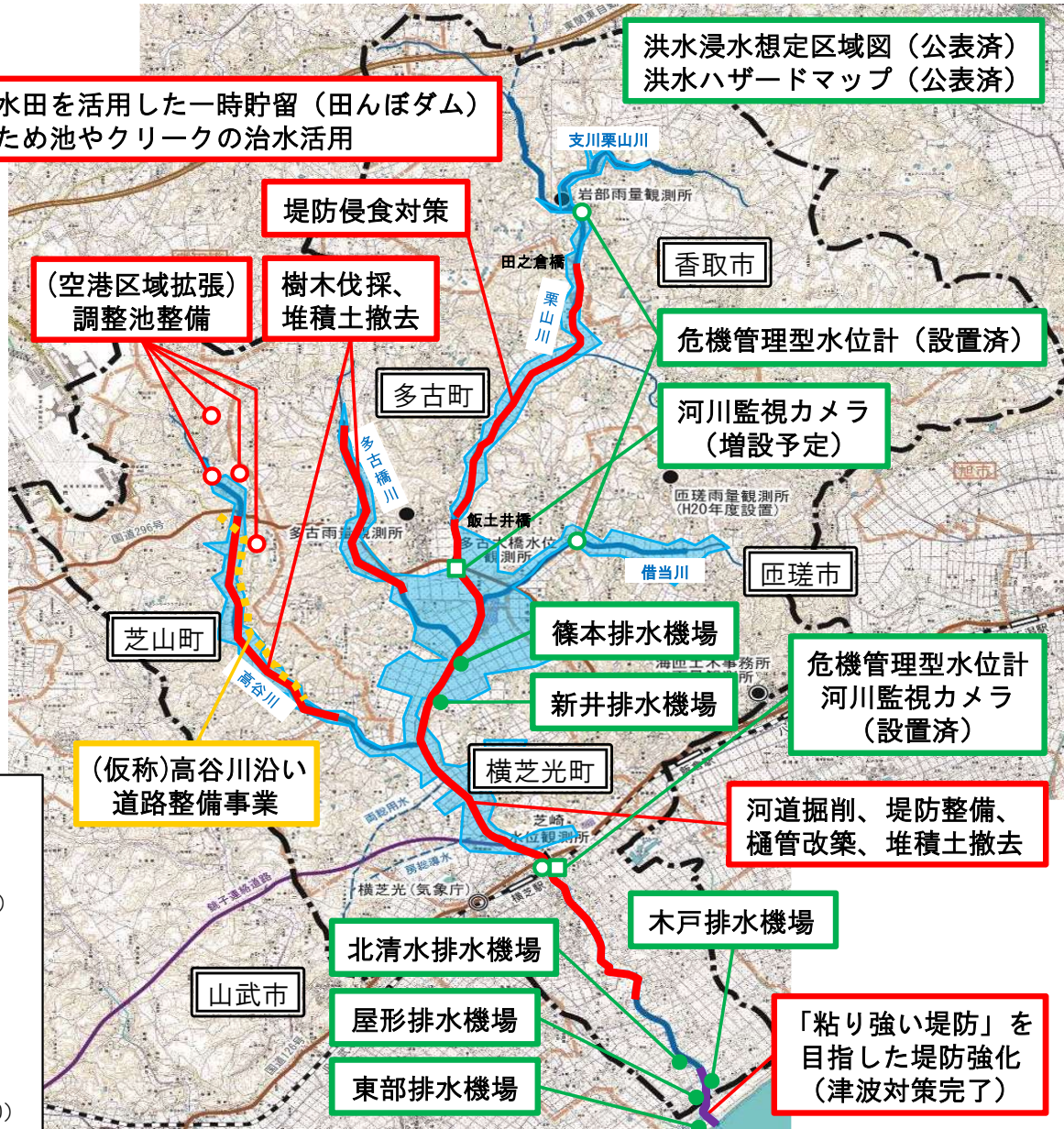


○ 令和元年10月豪雨をはじめとする近年の激甚な水害や気候変動による水害の激甚化・頻発化に備え、栗山川水系において、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速していくために、以下の取り組みを実施していくことで、年超過確率1/10規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- ・ 河道掘削、堤防整備、樋管改築
- ・ 堤防侵食対策
- ・ 樹木伐採、堆積土撤去
- ・ 「粘り強い堤防」を目指した堤防強化（津波対策完了）
- ・ 空港区域拡張（C滑走路新設）に伴う調整池の整備
- ・ 水田を活用した一時貯留（田んぼダム）
- ・ ため池やクリークの治水活用
- ・ 建築確認申請時の浸透枳設置のお願い
- ・ 開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導

■ 被害対象を減少させるための対策

- ・ 高谷川の氾濫時にも通行できる道路（一部機能補償道路）の新設整備
- ・ 立地適正化計画の策定支援

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- ・ 洪水浸水想定区域図（公表済）
- ・ 洪水ハザードマップ（公表済）
- ・ 危機管理型水位計、河川監視カメラ
- ・ 水害対応タイムラインの活用
- ・ マイ・タイムラインの作成支援
- ・ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援
- ・ 排水門等の整備（排水機場の老朽化対策）

河道拡幅（栗山川中流域）



（仮称）高谷川沿い道路整備事業



【凡 例】

- 流域界
- 河川改修
- 堤防強化（津波対策完了）
- 氾濫時通行可能道路整備
- 雨水貯留施設整備
- 危機管理型水位計
- 河川監視カメラ
- 排水門等の整備
- 浸水想定（計画規模1/50）

- 栗山川水系では、県、市町等が一体となって以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短 期】河川における対策として、栗山川の中流域で河道掘削及び堤防整備等を推進するとともに、栗山川、高谷川及び多古橋川等で樹木伐採及び堆積土撤去を実施する。
 - 【中 期】引き続き、栗山川の中流域で高谷川合流点までの河道掘削及び堤防整備等を推進する。
 - 【中長期】栗山川の中流域で飯土井橋までの河道掘削及び堤防整備等を推進し、事業区間の改修完了を目指す。また、栗山川の上流域でも飯土井橋から田之倉橋の区間で堤防侵食対策を継続して実施していく。
- あわせて、農地が多くを占める流域内の土地利用状況を踏まえ、雨水を一時的に貯留する田んぼダムやため池等の治水利用を促進するとともに、マイ・タイムラインや避難確保計画の作成支援などのソフト対策を実施する。

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河道掘削、堤防整備、樋管改築	千葉県	高谷川合流点まで実施		飯土井橋まで実施
	堤防侵食対策	千葉県	飯土井橋から田之倉橋の区間で継続して実施		
	樹木伐採、堆積土撤去	千葉県	3河川等で実施	定期的に実施予定	
	空港区域拡張(C滑走路新設)に伴う調整池の整備	成田国際空港(株)	新設整備		
	水田を活用した一時貯留(田んぼダム)	集落活動組織等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	ため池やクリークの治水活用	施設管理者等	千葉県と関係市町が実施主体に対し取組拡大を促進		
	建築確認申請時の浸透柵設置のお願い	横芝光町	継続して実施		
	開発行為に対する雨水貯留浸透施設設置の指導	芝山町、横芝光町	継続して実施		
被害対象を減少させるための対策	高谷川の氾濫時にも通行できる道路(一部機能補償道路)の新設整備	芝山町、成田国際空港(株)	新設整備		
	立地適正化計画の策定支援	千葉県	策定・見直し支援		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	危機管理型水位計、河川監視カメラ	千葉県	増設予定	運用状況の検証・定期的に更新予定	
	水害対応タイムラインの活用	千葉県、関係市町	運用実績の検証		
	マイ・タイムラインの作成支援	香取市	継続して実施		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援	横芝光町	継続して実施		
	排水門等の整備(排水機場の老朽化対策)	横芝光町	排水機場6箇所で実施		

【事業費(R3以降の残事業費)】
 ■河川対策
 全体事業費 45.4億円
 河道掘削、堤防整備等

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進